

2025年度 第52回 こくみん共済 coop

小学生 作品コンクール

神奈川県 入賞作品集

テーマ

作文／ありがとう
版画／自由課題



公式キャラクター
ピットくん・ピットネネ

主催 **こくみん共済 神奈川推進本部**

全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop** (神奈川県労働者共済生活協同組合)

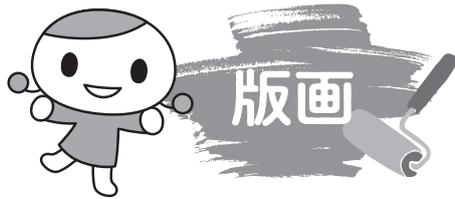
後援 ● 神奈川県教育委員会・NHK横浜放送局

第52回

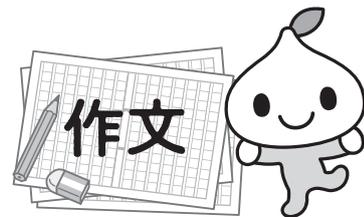
★★ こくみん共済 coop ★★

小学生 作品コンクール

神奈川県 入賞作品集



自由課題



ありがとう



銅賞



銀賞



金賞



銅賞



金賞

実施概要

37

審査講評

36

入賞作品

26

入賞者一覧

24

入賞作品

18

入賞者一覧

16

入賞作品

10

入賞者一覧

9

審査講評

8

入賞作品

6

入賞者一覧

5

入賞作品

3

入賞者一覧

2



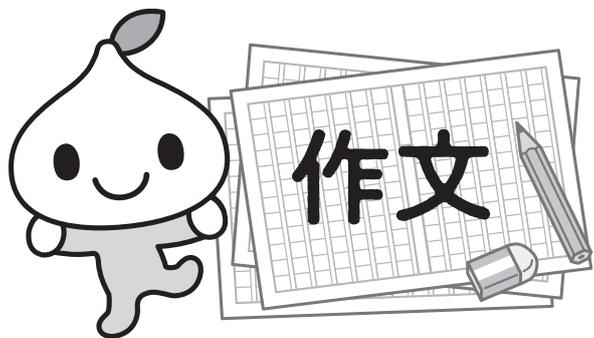
お姉ちゃんが教えてくれたこと

南足柄市立向田小学校・四年

加藤聡一郎さん

の話を聞きました。
 「そうちゃんかうまれた時はすごく喜んだ
 だよ。そうちゃんか泣くとおもちを渡そう
 としたりね。おむぎにそうちゃんかの。てた
 えられなくてつられちゃ。てもニコニコして
 たんだよ。」
 こんなに冷たくしたのはるかちゃんは変
 わらずぼくのことを好きでいてくれる。はる
 ちゃんにはぼくのことを好きとかくしんをも
 て言える。それは、はるかちゃんの気持ちの
 温度が伝わってくるからです。
 はるかちゃんにはできないことが多いけど、
 ぼくにはできないことができません。はるか
 ちゃんはぼくに大事なことを教えてくれました。
 大事なのは相手に伝える時、口から出る言葉で
 はなく、気持ちの温度を伝えること。はるか
 ちゃんにはしべれないけど大好きな気持ちを
 たくさんくれます。ぼくのトゲトゲして固く
 なった気持ちを丸くやわらかいものに変えて
 くれます。それは、温かくていごこちかい

です。ぼくをやさしい気持ちにしてくれます。
 だから今度ぼくかまわりの人に温かい気持
 ちを伝えていきたいと思えます。ぼくははる
 ちゃんの弟で本当によかったです。はずか
 しくていやだっと思ってごめんね。
 はるかちゃん、いつも大好きな気持ちを
 たくさんくれてありがとう。ちよ、とはずかし
 いけどぼくも好きだよ。



十二年間のありがとう

海老名市立東柏ヶ谷小学校・六年

佐藤

葉奈さん

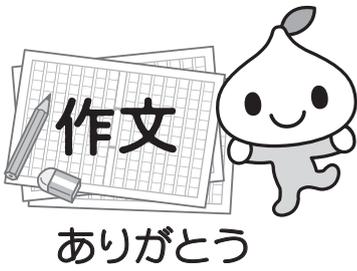
十一年間のありがとう

海老名市立東柏ヶ谷小学校・六年 佐藤 栞奈さん

十一年間のありがとう
 東柏ヶ谷小学校 六年 佐藤 栞奈
 今から十一年前、私は、保育園に通って
 ました。もうほとんど覚えていませんが、当
 時保育園の守衛さんをして、池田さんとい
 うおじさんがいました。登園した時は「栞
 奈ちゃん、おはよう。」帰る時は「バイバイ、
 栞奈ちゃん。」と言っていました。園服のな
 い二才以下のクラスの子にも名前を呼んでい
 ます。この保育園は、全体で百二十人くらい
 いるので、子どもたちの名前を覚えてありさ
 つするのには、とても大変だと思います。
 四月には、年長さんが卒業し、〇歳ク
 ラスの子が入ってきまし、その一人一人を
 何度か接するだけで「〇〇ちゃん」「〇〇く
 と声をかけているところを見ると、子どもた
 らも気にかけて守ってくださっているのがよ
 く伝わりました。雨の日も暑い日も寒い日
 でも、入ロで立って、ハイターチンでく
 ださるのが、とてもうれしかったです。

その池田さんですが、ハナ歳をこえて、四
 年手前に保育園の守衛さんをやめて、小学
 の見守りボランティアにはなりました。母から聞
 きました。その頃に、よく小学校の近くで、保
 育園とまでは、いいなかつた嫌をも、て
 見かけることが増え、「栞奈ちゃん、おはよう
 と声をかけてくれるのです。私も友達と話し
 ていたりして、気づいていないこともありま
 す。が「おはようございます」と返すようにし
 ています。何よりすごいのは卒業して何年も
 経って、いるのに名前を覚えていてくださるこ
 とです。また、低学年の男子が興奮して道
 に飛び出そうになるのを制止したり、保護者
 が一緒に登校している時は、保護者にも「ど
 うしたの？」と声をかけたりして、登校に
 安心感が生まれます。本当にありがたいです。
 小学校の図書室が土日に、一般市民あてに
 開放されるのですが、その時も時々、入ロで
 池田さんが見守りしていることがあるそうで、
 母は本を借りる時に会うと言っていました。

昔の小学校の話や近所のことなどは、[「]榮奈[」]
ち[「]ん[」]や杏音[「]ち[」]ん（妹）は元氣？と聞かれ
ることもあるそう[「]で[」]親世きのおじさんみた
は印象があまり[「]ま[」]す。そのくらい身近はおじさ
ん[「]で[」]す。
もうすぐ私は小学校を卒業します[「]が[」]、池田
さんには、見守りを続けてほしいし、何より
長生きしてほしいです。



ありがとう

審査講評

神奈川県教育委員会教育局

県央教育事務所 櫛 弘之

作文の

審査を

終えて



第52回こくみん共済coop小学生作品コンクールに応募してくれた皆さん、ありがとうございます。そして、入賞した皆さん、おめでとうございます。

今回の作文の部のテーマは「ありがとう」でした。

「ありがとう」は私たちが生きていく中で、たいへん身近なことばです。しかし、その反面、普段はなかなかことばにして伝えられていないものです。

今回、応募してくれた皆さんは、作文テーマになったことで、日ごろの生活を振り返り、だれに「ありがとう」を伝えたいか、改めて考える機会になったのではないのでしょうか。

応募作品には、家族、友達、地域の方などへの感謝の思いがあふれていました。その中で入賞した2作品を紹介します。

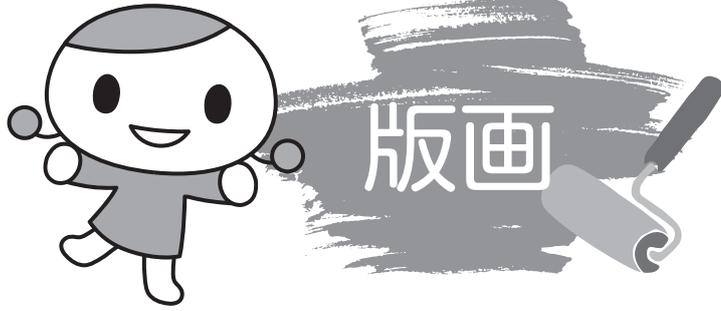
金賞を受賞された4年生の加藤聡一郎さんの作文「お姉ちゃんに教えてくれたこと」は、車いすで生活する姉ら家族と公園に行く場面から始まります。作者は、同じく遊びに来ていたほ

かの子とうまく遊べなかったことが姉のせいだと思い、姉に冷たく接します。ところが、姉はいつもどおり全身で作者に好意を伝えてきます。その姉の様子を見て作者にやさしい気持ちに戻ってきます。「いつも大好きな気持ちをたくさんくれてありがとう」と姉に感謝のことばを伝える作者は、姉に「ほくも好き」と結びます。家族だからこそことばにしづらい「ありがとう」の気持ちを表現した作品です。

銅賞を受賞された6年生の佐藤葉奈さんの作文「十一年間のありがとう」は、十一年間という長い間、自分を見守ってくれた地域の方への感謝の思いが表現されています。その地域の方は保育園の守衛さんとして、そして立場が変わり小学校の見守りボランティアとして、作者をはじめとする子どもたちを見守っています。声をかけるだけでなく、それぞれの名前を覚えていて、名前を添えてあいさつしてくれ、常に気にかけてくれ

ています。「ありがとう」を伝えたい相手として地域の方を思い浮かべると関係性が素晴らしく、また、地域には多くの大人が子どもたちを支えてくださっていることを、作者も、そして私たちも再認識できました。

「ありがとう」を伝える側も伝えられる側も、そしてこのことばに接する第三者も、皆の気持ちが和らぎ笑顔になります。応募作品からも多くの笑顔が浮かんできて、読んだこちらにも自然と笑みがこぼれます。ささいな「ありがとう」を大切に生活していくこと、表現することが、自分自身や自分を取り巻く環境、ひいては社会全体の幸せにつながっていくことを改めて感じました。



うみでみつけたおはな

川崎市立聾学校・一年 郡川 椿さん

ダンスをしているわたし

川崎市立南野川小学校・二年 山本 楓さん

おにごっこをするフラミンゴ

川崎市立南野川小学校・三年 ロペスみあさん

ソーランぶしのさいしよのポーズ

秦野市立西小学校・四年 山口 潤さん

いねかりするときのぼく

伊勢原市立緑台小学校・五年 平野 航希さん

ぼくの好きな卓球

秦野市立鶴巻小学校・六年 長沼 陽大さん

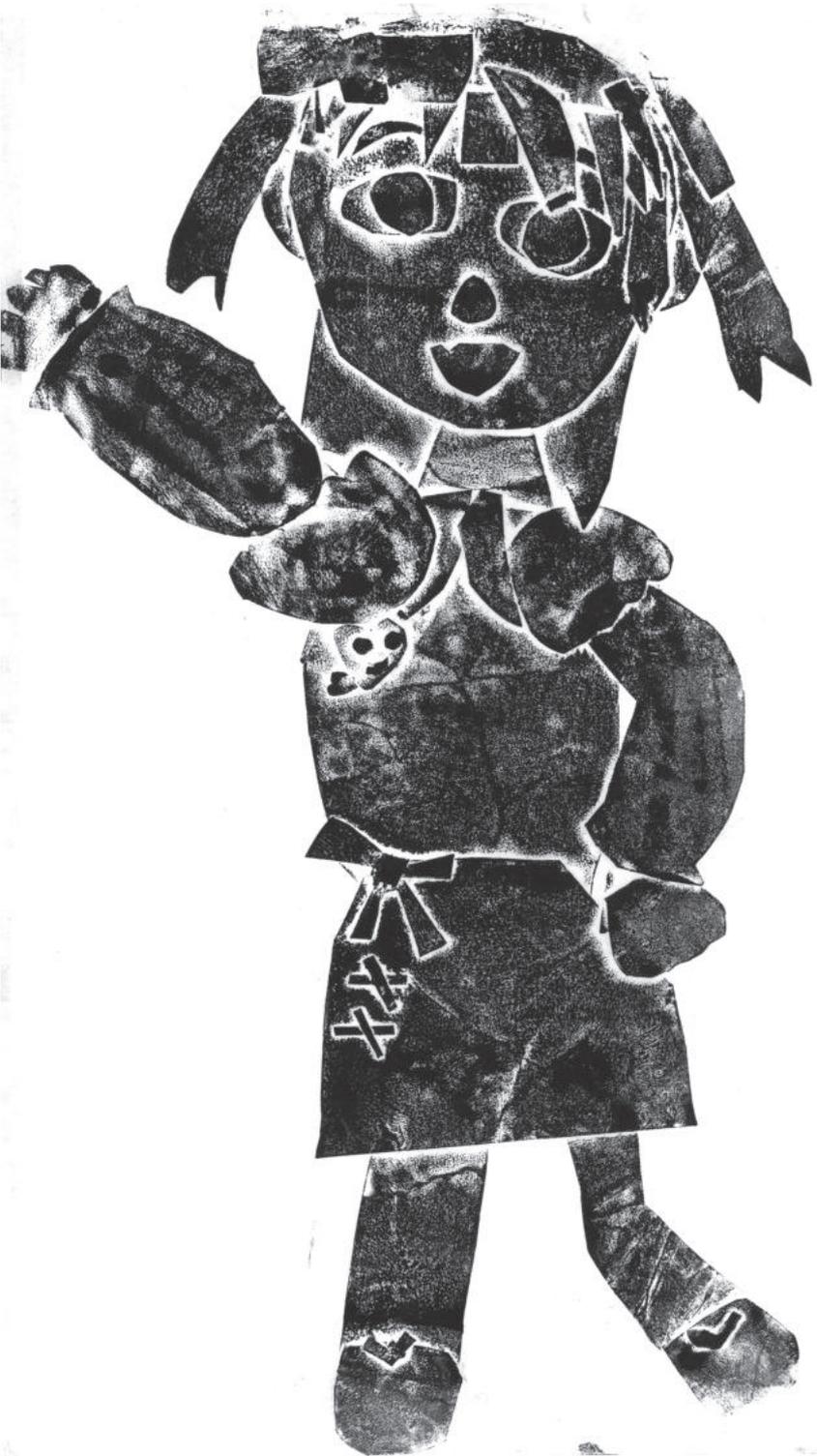
うみでみつけたおはな

川崎市立聾学校・一年 郡川 椿さん



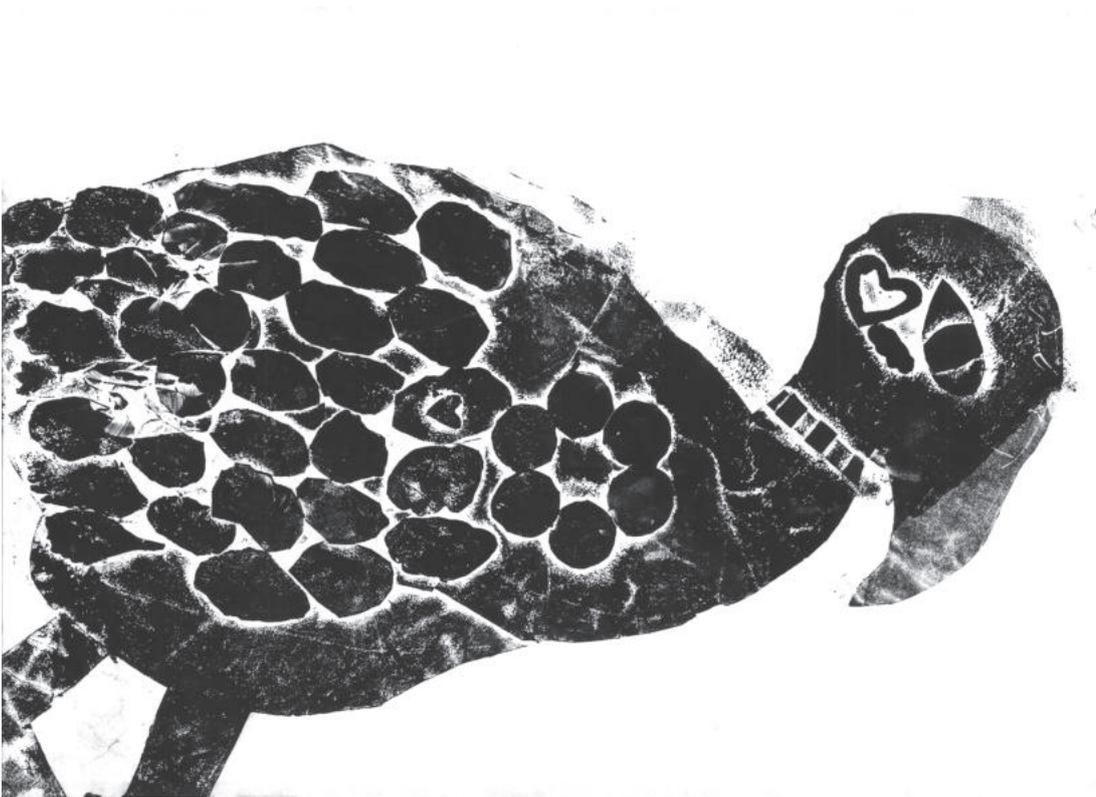
ダンスをしているわたし

川崎市立南野川小学校・二年 山本 楓さん



おにぎりを食べるプリンプリンゴ

川崎市立南野川小学校・三年 ロペス みあさん



シーファンぶしのやうしよのポーズ

秦野市立西小学校・四年 山口 潤さん



いねかりするよきのぼく

伊勢原市立緑台小学校・五年 平野 航希さん



ぼくの好きな卓球

秦野市立鶴巻小学校・六年 長沼 陽大さん





きょうのきゅうしよくなにかな

川崎市立聾学校・一年 張 嘉明さん

なにしてあそぼ

川崎市立聾学校・一年 遠山 椰月さん

かつごいいしゅット

川崎市立南野川小学校・二年 玉井 悠さん

イエーイ がんばるぞー

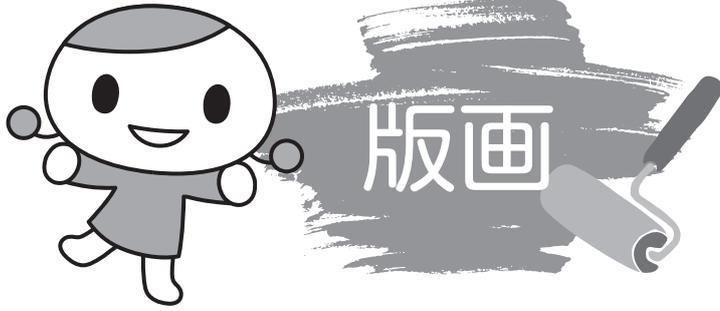
川崎市立南野川小学校・二年 渡邊 葵巴さん

すばやく泳ぐ本マグロ

川崎市立南野川小学校・三年 寺内 友治さん

とべ ぶくろ

川崎市立南野川小学校・三年 村上 優翔さん



かがやけぼくらの未来

秦野市立西小学校・四年 **宇野 秋人さん**

夜中のソーラン節

秦野市立西小学校・四年 **福田 壮助さん**

美しいな 秋

川崎市立聾学校・五年 **マスドイハンさん**

おいしいお米をお届けします!!

秦野市立広畑小学校・五年 **富田こるりさん**

フクロウがおばあちゃんをつかまえた

川崎市立南野川小学校・六年 **岡村 楓さん**

横浜中華街で

川崎市立南野川小学校・六年 **田中聖梨奈さん**



きゅじのきゅじしよくなにかなく
川崎市立聾学校・一年 張 嘉明さん



なにしてあそぼ
川崎市立聾学校・一年 遠山 椰月さん

かっしゅくごんショムイ

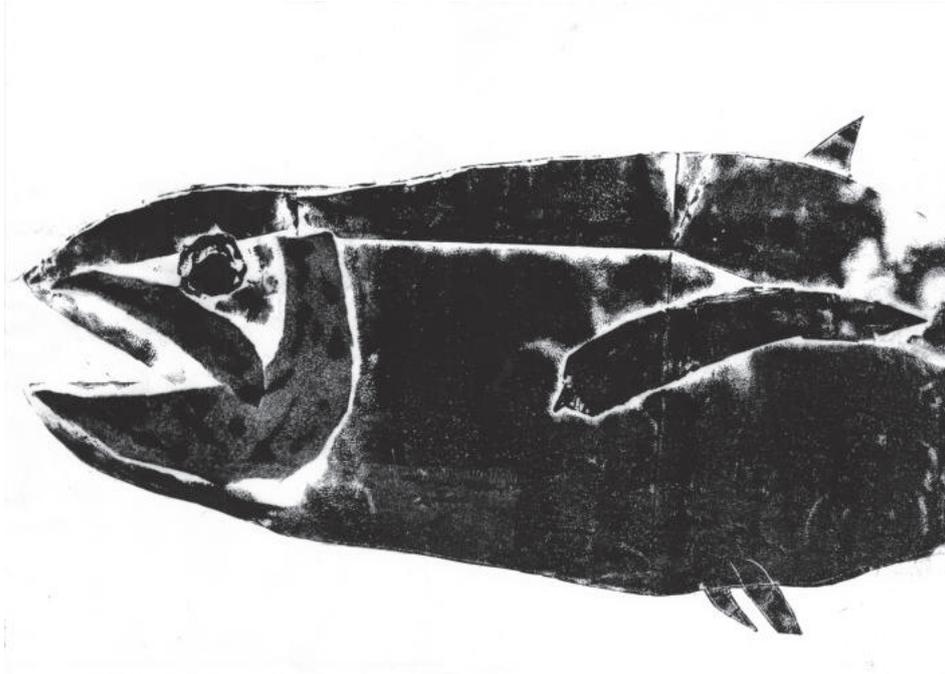
川崎市立南野川小学校・二年 玉井 悠さん



イエーイ がんばるぞー

川崎市立南野川小学校・二年 渡邊 葵巴さん





すばやく泳ぐ本マグロ

川崎市立南野川小学校・三年 寺内 友治さん



とびふくろう

川崎市立南野川小学校・三年 村上 優翔さん



かがやけぼくらの未来

秦野市立西小学校・四年 宇野 秋人さん



夜中のソーラン節

秦野市立西小学校・四年 福田 壮助さん



美しいな 秋

川崎市立聾学校・五年 マスド イハンさん



おいしいお米をお届けします!!

秦野市立広畑小学校・五年 富田 こるりさん



フクロウがおばあちゃんをつかまえた
川崎市立南野川小学校・六年 岡村 楓さん



横浜中華街で
川崎市立南野川小学校・六年 田中 聖梨奈さん



大すきなステイッチとおでかけ

川崎市立南野川小学校・二年 山尾 波瑠さん

すきな あそび

川崎市立聾学校・二年 平野 蒼斗さん

ペンギンのひる

川崎市立南野川小学校・三年 シェーンタツエミさん

魚を食べようとしているサメ

川崎市立南野川小学校・三年 横矢 大明さん

ワオキツネザルのおやこ

川崎市立聾学校・三年 田尻 杏奈さん

花火

川崎市立南野川小学校・四年 安岡 陸人さん

力強く旗ふったソーラン節

秦野市立西小学校・四年 高橋 隆晟さん

ソーランぶし二番かっこいいポーズ

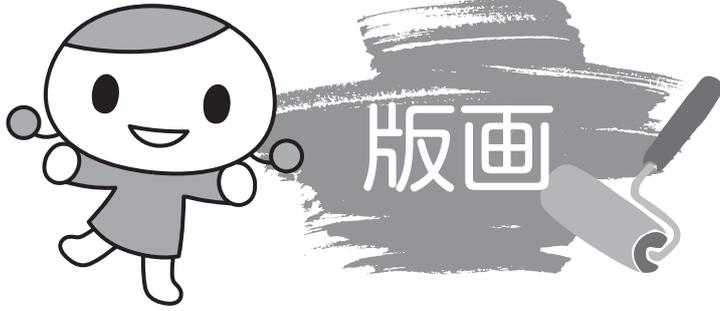
秦野市立西小学校・四年 松原 咲愛さん

決まったきめポーズ

秦野市立西小学校・四年 山本 陽真さん

音声時計

横浜市立
盲特別支援学校小学部・四年 佐伯 颯亮さん



ドキドキしたよ、初めてのの稲かり

伊勢原市立緑台小学校・五年 小林 美璃さん

大変だったいねかり

伊勢原市立緑台小学校・五年 針谷茉莉恵さん

富士山の天然水

川崎市立南野川小学校・五年 原島 舞衣さん

残り一周ラストスパート！

秦野市立広畑小学校・五年 齋藤 妃さん

おいしいお米になりますように

秦野市立広畑小学校・五年 田中 真弥さん

なまはげといとこ

川崎市立南野川小学校・六年 大桃まあやさん

大屋根リングの裏

川崎市立南野川小学校・六年 小宮 遙馬さん

私の筆運び

秦野市立鶴巻小学校・六年 佐藤 璃乃さん

全力玉入れ！

秦野市立広畑小学校・六年 草山ひかりさん

あなたに繋ぐこのバトン

秦野市立広畑小学校・六年 原 愛夏さん

大すきなステイッチとおでかけ

川崎市立南野川小学校・二年 山尾 波瑠さん



すきな あそび

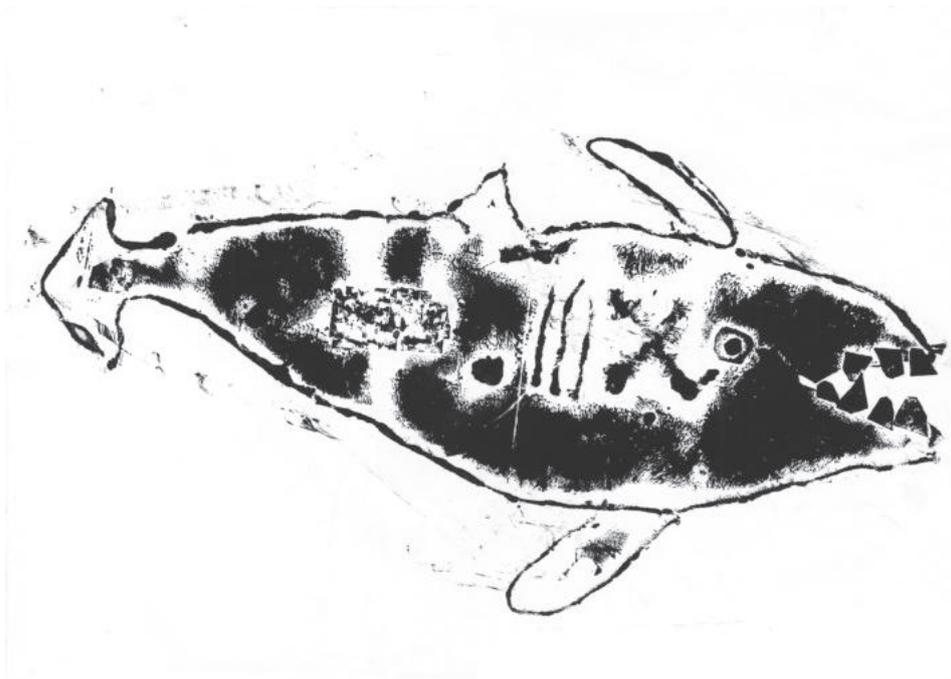
川崎市立聾学校・二年 平野 蒼斗さん





ペンギンのひる

川崎市立南野川小学校・三年 ソリアーノ ガブリエルスダリオさん



魚を食べようとしてるサメ

川崎市立南野川小学校・三年 横矢 大明さん



ワオキツネザルの
おやこ
川崎市立鶴学校・三年 田尻 杏奈さん



花火
川崎市立南野川小学校・四年 安岡 陸人さん



力強く旗ふったソーラン節
秦野市立西小学校・四年 高橋 隆晟さん

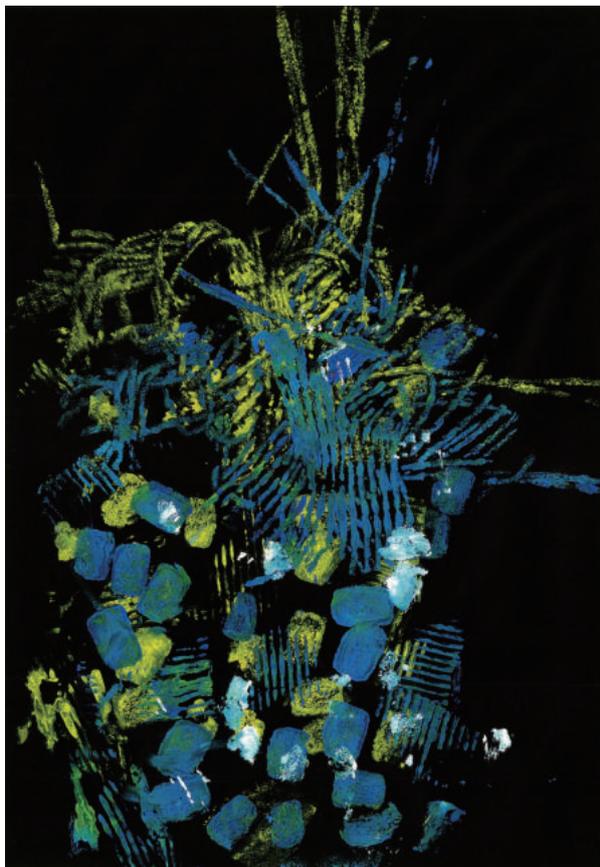


ソーランぶし一番かっこいいポーズ
秦野市立西小学校・四年 松原 咲愛さん



決まったきめポーズ

秦野市立西小学校・四年 山本 陽真さん



音声時計

横浜市立盲特別支援学校小学部・四年 佐伯 颯亮さん



ドキドキしたよ、初めての稲かり
伊勢原市立緑台小学校・五年 小林 美璃さん



大変だったいねかり
伊勢原市立緑台小学校・五年 針谷 茉莉恵さん

富士山の天然水

川崎市立南野川小学校・五年 原島 舞衣さん



残り一周ラストスパート!

秦野市立広畑小学校・五年 齋藤 妃さん





おいしいお米になりますように
秦野市立広畑小学校・五年 田中 真弥さん



なまはげといっしょ
川崎市立南野川小学校・六年 大桃 まあやさん



大屋根リングの裏

川崎市立南野川小学校・六年 小宮 遙馬さん



私の筆運び

秦野市立鶴巻小学校・六年 佐藤 璃乃さん

全力玉入れ！

秦野市立広畑小学校・六年 草山 ひかりさん



あなたに繋ぐこのバトン

秦野市立広畑小学校・六年 原 愛夏さん





審査講評

神奈川県教育委員会教育局

湘南三浦教育事務所 石井 久美
中 教育事務所 磯部 道枝

入賞された38名の皆さん、おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様の入賞、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

第52回となるこの小学生作品コンクールには、県内から548点もの作品の応募がありました。どの作品も、児童の皆さん一人ひとりが楽しみながら、丁寧で作製されていることが伝わってきました。そして、誰にもまねができない独創性のある作品に出会うことができ、幸せな気持ちで審査にあたることが出来ました。

1年生金賞の郡川 椿さんの作品は、様々な材料と色を用いて海の世界を表現し、椿さんが驚きながら楽しみながら作り上げたことが伝わってきました。生き生きとした紙版画の顔の表情がとても印象的でした。

2年生金賞の山本 楓さんの作品は、体の部分にたくさんパーツを使って動きを表現しています。体のふくらみや衣服の柔らかさを感じる、曲線を活か

した表現になっています。また、作品の表情からも楽しみながら大好きなダンスを踊っているのが伝わってきます。

3年生金賞のロペス みあさんの作品は、フラミンゴの一部を大胆に切り取った構図が印象的です。一枚一枚切り取られたパーツで表現された羽は大変見事です。くちばしにも摺りの濃淡による表現の工夫が感じられます。目の周りの余白にも表情を感じさせる効果がありました。

4年生金賞の山口 潤さんの作品は、斜めの大胆な構図に迫力とどっしりとした存在感を感じます。白い部分は、線彫りではなく丸刀を丁寧に使い細かく彫り進めることにより、独特な表現につながり、作品のグレードを上げています。

5年生金賞の平野 航希さんの作品は、しゃがんだ姿勢の切り取り方がとても素晴らしいです。稲刈りを実際に体験したからこそ完成できた作品であると思います。鎌の表現も水平から

の視点という、独特の観点から描かれており、秀逸さを感じました。

6年生金賞の長沼 陽大さんの作品は、卓球をしているある一瞬を切り取った作品です。表情や髪の毛の動き、ラケットの角度、ボールの動きなど総合して躍動感がある素晴らしい作品に仕上がっています。偶然かも知れませんが、摺りのムラがあることで、よりドラマチックな表現につながっています。

最後になりましたが、子どもたちを温かく見守ってくださいている保護者の皆様、熱心にご指導くださっている先生方へ心よりお礼申し上げます。次回もまた、個性豊かな作品と出合えることを楽しみにしています。

① テーマについて

- (1)「作文の部」 ありがとう
- (2)「版画の部」 自由課題

② 応募締め切り

2026年1月14日(水)

③ 神奈川県コンクール審査会日程

- 〈作文の部〉1月15日(木)～1月23日(金)
- 〈版画の部〉1月21日(水)

④ 神奈川県コンクール審査の先生方

(1)「作文の部」

神奈川県教育委員会教育局 県央教育事務所 指導課
教育指導員 梶 弘之 先生

(2)「版画の部」

神奈川県教育委員会教育局 湘南三浦教育事務所 指導課
教育指導員 石井 久美 先生

神奈川県教育委員会教育局 中教育事務所 指導課
教育指導員 磯部 道枝 先生

⑤ 神奈川県コンクール応募作品数

「作文の部」「版画の部」合計:552点

第52回 こくみん共済 coop 小学生作品コンクール
神奈川県 入賞作品集

発行●こくみん共済 coop 神奈川推進本部
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-4-9
電話●045-473-5588

※学校名、氏名など十分に確認しておりますが、万一誤りがございました場合はご容赦いただきますようお願い申し上げます。